常磐毎日新聞　(年中無休刊)　(昭和25年7月9日 第三種郵便物荷可)

夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社
電話 1210
編集兼印刷発行人 池田一夫

無資格教育長多し
教委各地とも開店休業

教育委員会は発足したけれども、かんじんの教育長の資格問題になると、全然資格に欠けているものあり、教育長そのものを嫌うなどのため、三月から新発足すべき各地の教育委員会は、このところ開店休業という形である。規則上の教育長の資格がたいているもので、その資格に欠けているものは、近く開かれる講習会に出席してから漸く資格を得られるというやうつこしい規則にしばられているというのが現在の様相である

常磐地区として直ちに教育長の資格あるものは次の通りで、双葉及び相馬地区では、各町村とも希望者がないので、事実上の休業を声明している向もあるという売行き不振の状態で、各町村とも、教育長ヤーイとさがし求めているというのが現況である

第一に教育長の資格というものは
①一級教員に対しては、仮免許をもらうことが出来る
②大学卒業で十年以上教員をやつたもの
③現校長
④一年以上視学又は校長をやつたもの
⑤旧制中学を卒業して五カ年以上教育に従事したもの

右に対して、来る二十九日から三月十七日まで福島で、教育長の講習会を開き、右終了者に資格を与えることになつたところがこの受講者は現在十七名の希望者に過ぎず、これまた熱のないこと甚しいけれど、中には現校長で退職し教育長になる人もいるので、結局ほんとうに資格を得たい人々のみの講習会となるようだ

校長級異動が
教育長就任に伴い

石城地方で直ちに資格を有するものは平市の長谷川政氏のみで、その他は受諾せねばならぬが、小名浜は高木長年氏が辞職して教育長に就任するらしく、その他も同様な人々が多いので、教育長の決定と共に、大がかりな校長級の異動も行われるであろうとみられ注目されている

地学大講演会
二十五日公会堂

平地学同好会では、同会二周年記念事業として、来る廿五日午前九時から市公民館で講演会を開いた講師は東京教大藤本教授「地学教育の振興について」東北大江口教授「炭田地学の諸問題について」同八木教授「アメリカの地学と地学教育について」同庄司助教授「炭鉱開発に役立つ地質図について」

優良炭鉱表彰
鉱山保安部★

鉱山保安管理者会議は二十七日午前十時から石炭協会々館室で開き二十七年度災害状況の報告、災害二割減少運動の優良炭鉱の表彰の件、保安教育推進の件

常磐機械協組
小高で発会式

かねてから創立準備中だつた、常磐機械協同組合の創立総会は廿八日午前十時から、小高町大字岡田字雷の組合工場に開き次の議案を協議する

創立の経過報告
定款承認の件、初年度における事業、経費の賦課徴収方法、理事、監事選任の件

民労連へ
常炭連から参加

常炭連第二回地方委員会は、廿三日午前十時から労働会館で開催来る二月十日東京において結成式をあげる「民労連加盟」について準備委員の推薦を行つた結

末續村で負擔金
久ノ浜の学校建築費に

久ノ浜町大字末続部落会では二十二日臨時総会を開き久ノ浜町に対し二百万円を貸付けることを満場一致で決議した

これは久ノ浜町では中学校新築、護岸工事、第二築港、道路改修など、莫大な数字にのぼる事業から負担額に悩んで居り、工事の進捗にも支障をきたして居るもので、短期需要の銀行借り入れ金では遂り切れぬ、塩炭の財政難に陥つて居り新妻町長からの申出でに対し、末続会では母町の苦境を切り抜けるためには止むなしと旧正月を控えて金融難の折でもあるがポンと二百万円を貸出すことになつたわけ

新妻町長談

実を申すと町としては中学校新築の地元負担金だけでも重荷であるが、教育事業だけに最大の犠牲を払つて着工二月末には竣工される予定であり、水道工事も着々と進捗して居り幾多の事業から財政の面では二進も三進もゆかぬ現場にあることは事実でこれが打開に悩んでいたが末続民の理解ある厚意によつて町運営に支障なきを得たことは

換地の研究
市郷市計畫で

平市特別都市計画事業土地区画整理委員会第十三回例会は、二十五日午前十時から市役所会議室で開らき、換地予定指定並びに換地予定地一部変更について協議する

民生委員会

平市民生委員会定例会議は、廿六日午後一時から公会堂日本間で開らく

果会長武藤武雄氏を委員に選出と決定した

分譲住宅の申込みは市へ

市営分譲住宅建設申込者は、住宅金融公庫への融資申請の都合があるので、希望者は今月末まで市役所土木課に申込むよう希望している

郡浪線解決す

もみにもんだ郡浪線バス運行に絡む争奪問題は双葉町村長会同盟長会代表が乗り出し紛争調定につとめた結果、葛尾村の省営、県南のバス誘致支持派も白紙にかへつて調停者一任に決定廿三日円満解決をみた

信連貯蓄運動

県信連浜通支部では、二十七日後一時から平市農業会館で第二回貯蓄推進委員会を次の要項で協議会を開らく

①農協貯蓄の歩止り対策
②農協資金計画樹立について
③其の他
(イ)農協資金二千億突破貯蓄増強感謝運動について

泉村臨時議会

泉村会は臨時議会を廿七日午前十時から役場会議室に開き使員ベースアップに就いて審議する

学校衛生支部会

県学校衛生協会石城支部主催の第二区保健衛生研究会は三十一日午前九時から湯本二中校に開き、トラホームについての各校並びに町内の状況、予防方法、治療方法、使用薬品などについて研究発表する

馬の検診日程

石城家畜保健所では馬の骨軟症の予防と早期発見、飼育の管理、健康馬植成を目的で次の日割で骨軟症検査並びに駆虫を実施する

◆二十四日小川、上遠野、川部
◆廿六日、夏井、上遠野、神谷四倉
◆二十七日大野、川田
◆廿八日豊間、大野、植田、泉
◆二十九日商久、泉
◆三十日商久、育前、山田
◆三十一日山田、小名浜

中学生家出
浅草で捕る

植田町炭礦鉄大原信行氏弟中学三年生竹男君(一五)は昨年十二月二十六日どころ学校へ行くと称して制服のまゝ二十二万円を所持して家出したことのほど判り、全国へ手配を頼んでいたが、最近東京蔵前署に保護されている旨通知があつた、同人は前からも家出のクセあり、金を持出しては水戸、東京方面を遊び廻つていた

三人組にスラる

茨城県多賀郡平方町本町上、漁夫藤原助世さん(四四)は、二十三日上野発午前八時三十分下り仙台行きのデッキに乗車していた所、勿来駅で下車したスリ常習犯らしい三人組に胸部を押されので、発車してから不審に思い上衣のカクシを調べた所、現金二千円をスラれているのを発見平公安室に届出た

天気予報

(明日)は北西のち東風となり曇(明後日)東のち北西の風やゝ強く晴時々曇(海上)二三日は風波ありますから御注意下さい

巨人と小人

根本忠孝

奈良朝時代に出来た「常陸風土記」には常陸の貝塚のことについて、巨人が丘の上から手を伸して海中の貝を採つて食し、其の殻が積つて丘となつたと記してある。その祠が現に存している。石城郡泉村大字下小川の大畑貝塚にも昔、「だいたらぼう」という巨人が居つた遺跡であるとの伝説がある

×

かように石器時人を、われわれの先祖が残した伝説記録によると、何れも巨人になつているが、アイヌの伝説によると小人になつている。巨人と小人、彼我の伝説上から見てじゆんに面白い対照ではあるまいか

(筆者は川前の郷土史研究家)

わが石器時代文化は、明治時代の坪井博士によつて、コロボックルの残したものと考えられた。コロボックルとは、北海道に名残を止めているアイヌ族の伝説にある民族で、ふきの葉の下に住む小人という意味に解される。石器時代人が身長一寸の小人であつたという説は、このアイヌ族の伝説から出ている。坪井博士はこの身長一寸を、われくの間に於ても小人のことを一寸法師というのと同じ意味であると説えていた

×

これに反して、石器時代人の実際に残した貝塚に関する伝説の記録によると、石器時代人は恐るべき巨人であつたという。

「奥羽観蹟聞老志」という古書によると、本県の伝説も相馬郡新地村大字小川の貝塚は特に有名で音、手の長い巨人が山頂に腰を掛けて手を伸

服地 呉服 小笠
御婚礼用 裳衣
帯 屋 古 名
帯芯 三河 特選
佐川呉服店
平市五丁目 電1486

急募！
一、文選工 二名 (経験一年以上)
一、文選見習工 二名
●男女を問わず ●市内居住者 ●委細面談
常磐毎日新聞社工務部

貸ふとん
新川町 スズキ
電四二三

むぎとろ 割烹 さつき 電八二

オン広告
カメラと材料は…
飯田カメラ店
平市紺屋町 電一三六五

印章とゴム印の技術伝統と技術の店
21年の方円堂印房

尽無と金預
株式会社 相互銀行 大東銀行
平市大町・電110・378

花長のおでん
寿司は花長
『花長の支那そば』

開花

牛市大通り三丁目角
音楽茶店 高野文化堂
(旧寿楽昌部)

外内科科 金成醫院
平市鎌田町 電話八二六番

お菓子の趣味
平凡の最中
優良な原料と一流技術者の作る平凡の最中はきつと皆様のお気に召します
御菓司 平凡
御注文ハ電話五〇九番へ 平駅前

甘納豆
カリント 百匁 四五円
白大福 〃 六〇〃
お多福 〃 五五〃
うぐいす 〃 五五〃
あづき 〃 五五〃
うづら 〃 五〇〃
お菓子の特売も
セイパンニユースNO2
大好評のお陰様で
イヨイヨお美味しくマスマス安く勉めさせて頂きます
3評判下る値段
おいしくて安いが何より評判のパンとおやつの店
平製パン

最高を誇る品質と色調
ダイヤモンド絹毛糸
各種毛糸入荷しました
1ポンド ¥1,800円
ハシモトヤ糸店
平市銀座通 電14

引つぱりダコの市営住宅
二月早々委員會で入居決定

待ちこがれている市営住宅は何時出来上るでしょう、市土木課に聞いてみると次のようで、北目の三十一戸と、平市としては始めての試みである磐商前の鉄筋十六戸は、三月一ぱいに完成するというから、間もなく塗の香りも真新しい新家で楽しく生活出来ることでしよう

北目町の分は十一坪及び九坪の両方で木造平家建三十一戸、既に完成しているので、磐商前の鉄筋アパート十六戸の完成と共に、一時にこの入居者を決定する事になつた

現在申込は七百名を突破し、十五人に一人の割合というから仲々うまく入居出来るかどうか疑問で、自然裏口運動も行われているようだ、市当局としては、今年はこれらの噂のタネをまかぬように入居者決定に対しては、相当厳重な方針で進むことになり、まず現在申込んでいる七百余名に対する

①果して同居しているか
②ほんとうに住宅のために悩まされているか
③緊急入居せしめねばならぬ状態にあるか

の点に関して、実態調査をなし、来月早々委員会にこのリストを持出して決定しようという方針で進んでいる

結局実態調査をして甲乙を区別するが、それでも家屋は不足を告げているので、クジ引というような事になるかも知れない、その場合クジで何回も落ちている人に対しては優先権を認めたい、何れにしても公平に入居者を決定するから、いろいろな策動やデマを飛さぬようにして欲しいと当局では述べている

十二戸は四月

なお旧平高等学校の校舎を磐商前へ持つてゆき、これを材料としてのアパートは十二戸の予定で、これは四月下旬に完成の予定である

茶道閑話

裏千家流（下）
岡田華悦

茶はさびて心は厚くもてなせよ

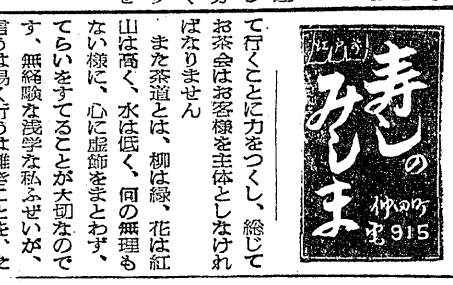
道具はいつもあり合せにせよ

これもまた利休の歌の一つでありますがお茶の世界には、社会的の地位階級や、金富の差はなく、すべてが対等の人と人とで、心がなめらかに溶け合ひ、真心をつくして人をもなすのが茶の湯の心なのです。先達つて、私は或る主婦の方に、「さるところで開かれたお茶の会に伺がひましたが、それはくきらびやかでございまして、とうてい私共の娘などには、習はせることも出来ない様に感じてまいりました」と言われ赤面したことがあります、お茶の会と言いますと、おてまいの温習会の様であつたり、娘さん達の振袖、訪問着の晴せ合いの様であつたりと言う誤つたことが往々にしてくり返されているのです、まことに残念なことだと思ひますが、お茶会と言いますのは、茶道の本来の精神から言つて、決してその様なものではないのです。おいで下さつたお客様に対して心を尽して、お茶を喫んでいただくのが、本来の姿なので、お客はそうちばり、茶席らしいふん囲気を作りのけで、自分達のおてまいや立居振舞がいかに上手で見事であるかをみせびらかしたりするものでは、まさに邪道だと言わなければなりません

殊に当地方では、適当な茶室、茶席がなく茶会をするたび、私達の頭痛の種なのですが、いかにしたらお客様に少しでも快的な気分を味はつていただけるかと心をくばり、茶席らしいふん囲気を作り観覚に足る程度の道具を取り合せて行くことに力をつくし、総じてお茶会はお客様を主体としなければなりません

また茶道とは、柳は緑、花は紅山は高く、水は低く、何の無理もない様に、心に虚飾をまとわず、てらいをすることが大切なのです、無絡験な浅学な私ふぜいが、言うは易く行うは難きことを、たいへん長々と書きたてましたが通歩するには、まづ自分自身の、赤裸々の相を見究めることが大事なことと思われます　（終）

★写真説明
上は……お茶の会
下は……おてまい



梅から夏に
結核病は入梅から夏に
平保健所の調らべ

平保健所では、昨年一ケ年間の結核患者発生数をこのほどまとめた、それによると患者の発生数は毎年減少をたどつている、全国の結核発生数とは反比例して廿六年の千六百六十六名を十三パーセントも上廻る千八百六十一名となつている、これは昨年から結核予防法の改正で、平保健所が一応集団検診を行つた為潜在患者の発見が多くなつた為の一現象と見られる、一方発病期節は一月が特に多く、次いで入梅から夏にかけての五月から八月となつている

一月の多発生原因ははい炎やカゼで体が弱り、潜在していた疾患が併発する為でしよと係官は語つている、

死亡者は百八十九名で毎年三パーセント平均減り月別の発生状況は次の通り

▼一月二四九名▼二月一四一名
▼三月一三九名▲四月一七八名
▼五月一八九名▼六月二一一名
▼七月一六五名▼八月一八一名
▼九月一三五名▼十月一三八名
▼十一月七四名▼十二月六一名

〝火の元〟用心
火事季節に望要

名物「石城の空カゼ」と共に今年も火災シーズンに入つたので、平消防署では火の元に気を付けるよう注意をうながしている

昨年の同署管内の火災は県立園芸原種農場の全焼を始め、東北電力平営業所などボヤを含めて十九件の火災が発生、被害総額は五百万円に達している、火災発生の主な原因は煙突の過熱と損傷、子供の火遊び取り灰、たき火の不仕末などが挙げられている、しかし二十五年の二十四件、二十六年の二十六件に比較するとダウト件数も損害も減つているが、これは学校児童の火の番廻りと市民の防火思想が徹底したのでしようと同署では語つている

平美容師会
会長結城輝子氏

平美容師総会は二十日午前十時から平保健所会議室で開き役員改選を行つた、新役員次の通り

会長結城輝子、副会長片寄武子
会計長谷川美津子、幹事坂本ヨシノ、安田マス、関水野冬子、会田タミ、吉田ミサヲ、鈴木トヨ

カゼに御注意
夜更しや外出しない事

平保健所では小名浜、江名方面の流行性感冒は依然猛威を振いか、中学校児童の集団欠席が続いているので次の様な警告を発している

▼夜更しはあまりしない事
▼体のつかれた場合に寒襲をおこたらない事
▼感冒は絶対にさける事
▼感冒の出ている家には出入りを避る事なお昌された場合はマスク掛ける事
▼肺炎を併発しないよう注意する事
▼無理して役所や学校に出勤しない事

俳壇

いわ浜新年句会

暁山

▼初笑い入参の朱をころがして
▼ゆぐりなく追羽子に見惚れいたりたり　秋静子
▼たき火して黒々と待つ初日かな
▼官舎の昼羽子つきの音澄みにけり　秋陽子
▼冬田打つくわに春への殴々固む
▼書の部屋に陽ざし及びぬ福寿草　一桜
▼マツチのひ冬田はやみの色に消ゆ　源一
▼初御空母子像高く仰ぎ見る　松洞
▼敲え子の肩轡栄えし初だより　清美
▼雪片を双手に愛はとり易し

（二十四歳）作吟
竹本喜美太夫

宵の背と背が明方ころにや
目と目が笑つて呑むお水』
雪見酒呑んで呑ませて酔はせて酔つて
心ゆくまで甘い夢』
寝返りを打てばすやくあの憎らしい
どこのつかれか商いびき』
つもりくし心のなぞもとけてうれしい
春の雪』
部屋の静けさ目と目が笑い
夢も楽しい置こたつ』

懸賞募集
賞金五千圓也

期日1月10日より2月10日まで

時計の智識

当店内の金魚が遊んでいる時計（龍宮時計）は
電機仕掛でしようか？
ゼンマイ仕掛でしようか？
御回答は左記の要項で下さい

但 正解者多数の場合は抽せんにて十名様に他の正解者の方には誠光堂の一割引券進呈
●用紙　官製ハガキ　一人一枚
●発表　二月十八日　店頭並常磐毎日紙上
宛名　平市銀座街通り（電一四九六）
誠光堂時計店

福島県知事登録済
求宅地建物
三菱地所株式会社

多数申込みあり至急買いたし
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際色川材木店内（電三六一）

最も確実に利殖極めて手軽に金融
三菱殖産株式会社

東京都千代田区神田神保町三ノ二七大蔵省受理第四七一号
当社は全国相互金融協会（有力三八社加盟）の会員で全国市要都市八十箇所に営業所があります
平営業所
平市白銀町（電話一、三八一）
福島営業所
福島市大町（電話三、六一七）

季節のふぐと天ぷら
手打三日小松

公売公告

一、入札書は一月三十一日午前十時限り公売執行官に差し出されたい
二、開札は同日午前十時十分前記場所で行う
三、保証金は不要
四、代金即納とする　右公告する
昭和二十八年一月廿一日

平税務署

一、水口忠助
四倉町字新町三三
電話加入権　四倉局　五四番
二、ラヂオ　五球　一台
三、ミシン　一台　四、ベビータンス　一さを
五、テーブル
三尺一三尺　一個
一、馬目与三郎
平市字五丁目三番地
平市字五丁目三番地ノ一
一、宅地　六六坪二合四勺
平市字田町五四番
辻川幸太郎
一、万国ミシン　一台
一、渡辺清二
平市古館治町七番地
家庭用シンガーミシン　一台
二、工業用シンガーミシン
一〃
湯本町大字湯本字八仙
小型三輪自家用貨物自動車　中古品　一台
一、若松喜一
柱時計　中古品　一個
右は国税滞納のため前記の財産を前記所在各々役場に於て（但し平市、湯本町八仙若松喜一については当署で）入札の方法に依つて公売するのであるが買受希望の向は現品又は現場を良く御覧になつて次の事項と入札人心得書を御承知の上入札せられたい

記

各種製綿卸商
つたや製綿店

大量注文に応じます
平市正月町

皆様の御要望に応じ
小型貨物車
を増車致しました

御用命をお待して居ります
連絡は電話一八七番を御利用下さい
一般貸切貨物車東京―平間定期便
運転手募集
委細面談
磐城貨物自動車株式会社
平営業所
電話一八七番

常石炭礦の石炭
常磐炭

石炭は信用のある
有名品が御徳です
火力の強い
ガラの少ない　石炭
御注文は一報より配達します
電37番へ237
平市田町　常磐炭礦販売会社

内科　前田清美
産婦人科　前田春雄
性病科
外科（胃腸科）
整形外科
レントゲン科
診療時間　午前九時―十二時　午後二時―五時
休診日　日曜日
◎病室完備
石城郡植田町本町六三
電話植田一二四番
災害保険指定診療所
前田医院